

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.6
Q1 室内環境			0.40					3.5
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 設備騒音対策								
1.2 遮音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		3.3	0.35	3.0	1.00			3.3
2.1 室温制御		3.7	0.50	3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性								
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	水熱源ヒートポンプシステム(冷暖房同時)により各室ごとに制御が可能	5.0	0.38					
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.8	0.25	3.8	1.00			3.0
3.1 昼光利用		2.6	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	4床室:昼光率4.0%、個室:昼光率3.1%	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備	中央待合にてトップライトによる採光	5.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策								
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
3.4 照明制御	ベッド単位で照明制御が可能	3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		4.7	0.25	4.5	1.00			4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に採用、VOC放散量の少ない材料の採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レンオネラ対策								
4.2 換気		4.0	0.30	3.6	0.38			
1 換気量	30m ³ /h・人にて換気量を計画	4.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取入れは原則2階以上、かつ給排気口は6m以上離隔	4.0	0.50	4.0	0.33			
4 給気計画								
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0	-					
2 喫煙の制御	全館、敷地内禁煙	5.0	1.00					
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.9
1 機能性		3.7	0.40	4.8	1.00			3.8
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	個室10㎡以上、多床室8㎡/床以上を確保	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40			
1 広さ感・景観	病室の天井高2.6m	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-					
3 内装計画	パース、サンプルによる内装検証、木目調の内装計画	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	ノンワックス床材の採用、床材立上による清掃性の向上	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		4.4	0.31					4.4
2.1 耐震・免震		5.0	0.48					
1 耐震性	基準法の1.5倍以上の耐震性を確保	5.0	0.80					
2 免震・制振性能	基礎免震構造の採用	5.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁:タイル貼り(防汚コート)	4.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ノンワックスビニルシート、大理石、タイルカーペット	4.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクト及びガルバリウム鋼板ダクトを採用	5.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	原則C以上を採用	4.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.6	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源機器等は複数台設置し、空調・換気設備は系統分けを実施	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具の採用、配管の系統分け、一次貯留機能の確保	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機の設置、電気設備の屋上階設置、無停電電源設備設置	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	免震構造を採用し、耐震クラスS程度の機能を確保	5.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.3	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	病棟階高3.8m、その他4.0m以上	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	ロングスパン、ラーメン構造、軽鉄間仕切り	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		隣接する公園と一体となった緑地、オープンスペース計画	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑化、高木中木の植栽など木陰を創出する緑化に配慮した	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制		loweガラスの採用など建物の熱不可抑制に努めた	4.4	0.30	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	トップライト、光庭、自然換気	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR=27.1%	4.6	0.30	-	-	4.6
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)		ERR=27.1%	4.6		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1	節水	節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.6	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用システムを導入	4.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-	3.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	エコマーク、グリーン購入法資材の採用	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	軽鉄間仕切りによる仕上げなど躯体と仕上げが容易に分別可能	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床シート用、壁紙用、フローリング用接着剤	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	窒素消火設備	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=78%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車台数、駐輪台数の確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照度、輝度、光源等を適切に設定し、点滅させたり拡散させたりしない	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	